

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2001-15078(P2001-15078A)

【公開日】平成13年1月19日(2001.1.19)

【出願番号】特願2000-123973(P2000-123973)

【国際特許分類】

H 0 1 J	65/00	(2006.01)
A 6 1 L	2/10	(2006.01)
C 0 2 F	1/32	(2006.01)
C 0 9 K	11/78	(2006.01)
C 0 9 K	11/81	(2006.01)

【F I】

H 0 1 J	65/00	
A 6 1 L	2/10	
C 0 2 F	1/32	
C 0 9 K	11/78	C P K
C 0 9 K	11/81	C Q F

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 誘電体材料からなる壁を有する放電容器を具え、前記壁の外表面に少なくとも第1及び第2電極が設けられ、且つ前記放電容器内にキセノン含有ガスが充填されたガス放電ランプを具える水殺菌用装置において、前記壁の内表面の少なくとも一部分上に、UV-C(短波長紫外線)領域内で発光する蛍光体を含む被膜が設けられていることを特徴とする水殺菌装置。

【請求項2】 前記蛍光体はPb²⁺, Bi³⁺及びPr³⁺からなる群から選ばれる活性物質をホスト格子に含むものであることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項3】 前記蛍光体はPr³⁺とランタンを含むものであることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項4】 前記蛍光体はLaPO₄: Pr, LaBO₃: Pr, LaB₃O₆: Pr, YBO₃: Pr, YPO₄: Pr及びY₂SiO₅: Prからなる群から選ばれるものであることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項5】 前記蛍光体はYPO₄: Bi及びLaPO₄: Biからなる群から選ばれるものであることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項6】 前記蛍光体はPr³⁺とイットリウムを含むものであることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項7】 前記電極はUC-V光を反射する金属又は合金からなることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項8】 誘電体材料からなる壁を有する放電容器を具え、前記壁の外表面に少なくとも第1及び第2電極が設けられ、且つ前記放電容器内にキセノン含有ガスが充填されたガス放電ランプにおいて、前記壁の内表面の少なくとも一部分上に、UV-C(短波長紫外線)領域内で発光する蛍光体を含む被膜が設けられていることを特徴とするガス放

電ランプ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の範囲内において、蛍光体は Pb^{2+} , Bi^{3+} 及び Pr^{3+} からなる群から選ばれる活性物質をホスト格子(host lattice:主格子)に含むものとするのが好ましい。